

ことばの学び



読むこと
×
書くこと

Number

18

ESSAY

投資という言葉 八木陽子

特集

読むこと × 書くこと

- 「読み書き関連指導」が生成する学び 河野順子
- 「読み書き関連指導」の意義とポイント 古賀洋一

授業アイデア

主人公の「その後」はどうなる？

～時制や視点人物に着目し、「少年の日の思い出」を読み解き、表現してみよう～ 石塚弘幸

投資という言葉

八木陽子

「投資」と聞いたら、どのようなイメージを抱くでしょうか。

昨年夏、親子のお金講座を開催した際に、保護者約八〇名にアンケートをとってみました。投資のイメージはどんなものかという、自由記述スタイルです。その回答をみると、ネガティブなものが多く、唾然としました。

危険なリスクがあるのではないのか、わからないから怖い／失敗してお金を失うイメージ／借金とかの悪い意味だと思った！／リスクの大きいもの。お金に余裕がある人がやるイメージ／始めてみたいが、どれがよいかわからない／難しくて怖いイメージで、素人は手を出さないほうがいいもの

「子供にお金の知識を身につけてほしい」と親子マネー講座に積極的に参加されている保護者が、投資についてマイナスイメージを抱いているのです。お金とは何か、投資はそんなに悪いものなのか、としみじみと考えさせられるできごとでした。

そもそも投資とは何かというと、辞書に掲載されている定義では、「将来的に資本（生

産能力）を増加させるため、現在の資本を投じる活動を指す」とあります。「自己研鑽や人間関係においても使われる」とも書かれており、決して悪いイメージを喚起させる言葉ではありません。むしろ、投資とは、成長を期待させる言葉といってもよいのではないのでしょうか。

では、なぜ、日本社会では、投資が悪いイメージを抱くものにならったのかというと、私は「お金」について話さない文化が一因ではないかと思えます。普段余り話題にしないテーマでも、事件が勃発したときだけ話題になります。投資詐欺にあった、儲け話が嘘だった、借金が増えたといったニュースには、「堅実に資産を増やした」という事実よりもはるかにメディアも飛びつきやすいです。投資そのものをよく知らないまま、悪いイメージをもっていないでしょうか。

投資とは、成長に期待するもの。私は、子供たちに株式投資を教える際は、「日本の将来のために、応援したい会社を選んで、成長してもらおう。」と話しています。子供たち

は、身のまわりの大好きな会社名をありったけ教えてくれます。お菓子の会社、文房具の会社、アイスクリームの会社、回転寿司の会社……。その応援したい会社は、本当に、自分たちの大切なお金を預けるに値する経営をしてくれるかな？ その会社が成長したならば、自分たちにも利益があるけれど、社会全体も豊かにしてくれる。それが、本来の株式投資だと伝えています。

投資や資産形成が必要となってくるこれらの時代、大人たちの意識を変えていくことが、日本という国が成長できるキーワードかもしれません。

Profile

やぎようこ

株式会社イー・カンパニー代表取締役、ファイナンシャルプランナー。キッズ・マネー・ステーションを主宰し、さまざまな学校で講演や授業を行う。監修した書籍に「10歳から知っておきたいお金の心得」（えほんの杜、2019）など。NHK「あさイチ」「ウワサの保護者会」などメディア出演も多数。



読むこと×書くこと

「読み書き関連指導」が生成する学び

元白百合女子大学 河野順子

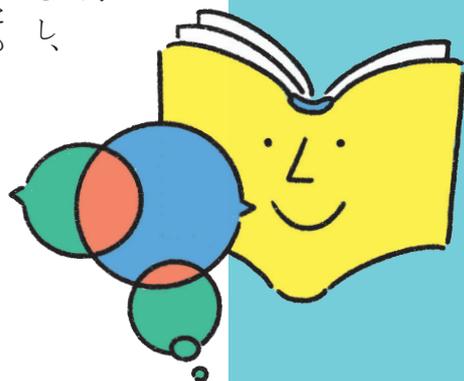
現在求められている学力は、授業で学んだ知識・技能が、他の学びに応用され、ひいては生活の中で生きてはたらく力となるものである。「読み書き関連指導」は、これからの社会を生きる力として、学んだことを応用し、活用していく力の育成が叫ばれている現在、再び脚光を浴びることになった。「読み書き関連指導」のよさは、読みの段階で学びとった筆者の見方・考え方・述べ方を活用することができる点である。

そこで留意したいことは、例えば論説的文章の構成や表現を学んで自らの文章に生かしていくために、それを形式的に習得させる授業から脱却する必要があるということである。論説的文章には、筆者が読者に伝えたい主張があり、その主張の説得力を高めるために必要な事例を選び取り、論理展開を工夫して

るということを学習者に実感させるような読みの授業づくりを心がけたい。このとき有効な方法として「筆者との対話」をあげることができる。教材に向き合っても受け身的で、何の目的もないままに読んでいても、学習者の意欲は高まらないし、学びも深まらない。そこで、「なぜ筆者はこの事例を選んだのだろう。」「どうして論理展開に対比を取り入れたのだろう。」というように問いかけて、筆者と対話していくことが「主体的・対話的で深い学び」を生成し、読みににおける書き手意識を自覚化させていくことになる。

重要なのは、筆者の論理展開や表現に対して、学習者の既有知識・技能、見方・考え方を再構成するような学びが展開されることである。そうすれば、「読み書き関連」の授業は、「読むこと」で学んだ知識・技能を「書くこと」に真に活用できるようになる。例えば、「自分だったら、この事例ではなくて別の事例をあげたいのに……。」というように、既有知識・技能や既存の見方・考え方を引き出しな

がら、筆者と対話（葛藤も含む）し、更に他の学習者とも対話していくことが、「なるほど、筆者がこの事例を使っているのはこういう思いがあるからなのだ。この論理展開だからこそ、筆者の主張が強調されるのだ。」といった実感と納得を伴った学びを形成していくのである。私は、こうした学びの過程を「批評読みとその交流」と呼んでいる（詳しくは、河野順子編著『小学校国語科「批評読みとその交流」の授業づくり』（明治図書、二〇一七）を参照）。



Profile

かわの じゅんこ

小学校教師を経て、熊本大学教育学部教授。熊本大学教育学部附属小学校長を3年間併任。その後、白百合女子大学教授。全国大学国語教育学会全国理事。日本国語教育学会理事。著書『対話』による説明的文章の学習指導 メタ認知の内面化の理論提案を中心に』（風間書房、2006）他多数。



「読み書き関連指導」の意義とポイント

島根県立大学准教授 古賀洋一

「読み書き関連指導」の意義

一つの單元の中で、「読むこと」の学習と「書くこと」の学習とを組み合わせさせて指導することを、「読み書き関連指導」といいます。具体的な関連のさせ方としては、次の二つのパターンが想定できます。

1 形式面の関連…文章に見られる効果的な表現方法を、自身の表現に適用する

2 内容面の関連…文章の内容をふまえて（内容に対して）自身の考えを表現する

読み書き関連指導の意義については、国語教育学研究においても指摘がなされてきました。①読みの対象となる文章が「足場」となり、自分一人では発想できなかった考えを形成できるようになること、②書き手の視点に生徒が立つことで、筆者の表現の工夫を吟味するような読みが促されること、③文章から学んだ表現方法を応用することで表現力が高まることなどです。

以下では、令和3年度版『現代の国語』に所収の中学二年生の説明的文章教材「動物園

でできること」を例として、読み書き関連指導のポイントを述べたいと思います。

1 形式面の関連…筆者の表現の工夫を吟味するために書き手の視点に立つ

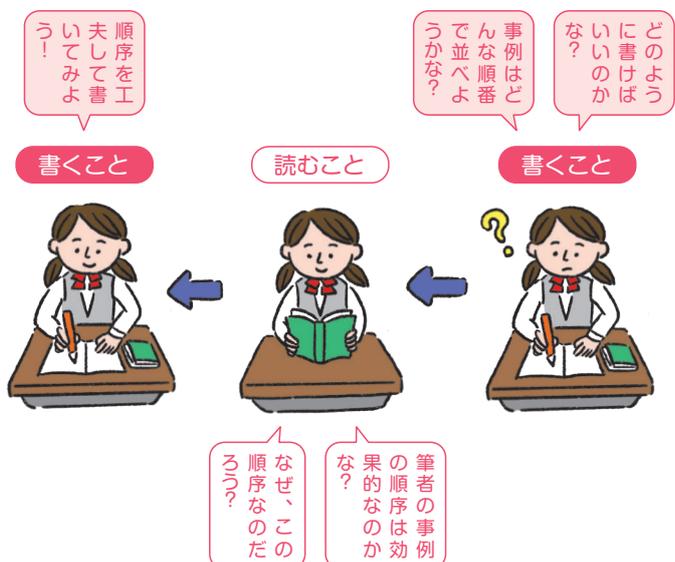
「書くこと」の授業で多く見られるのは、「三部構成で書きましよう。」「対比で書きましよう。」というように、教師が表現方法を指定して意見文を書かせる授業です。もちろん、表現方法を明示的に教えることはとても大切ですが、型にはめて書かせるだけでは、生徒がそれらのよさ（読み手に与える効果）を理解することはできません。結果として、表現方法を進んで応用したり、いくつかの方法から適切だと思うものを取捨選択したりしていくような高次の能力は育まれにくいでしょう。生徒が表現方法の効果を理解するためには、具体的なモデル（文章）からそれらを学びとっていくことが欠かせません。ここに、読み書き関連が求められる理由があります。例えば「動物園でできること」には、次のような効果的な表現方法が散りばめられています。

書き出し…読み手に「動物園の役割」を問うたあとにいくつかの役割を紹介することで、驚きを与え、関心を引きつける。

事例の順序…「オランウータン」「ペンギン」

「エゾシカ」という順序で事例をあげることで、「野生動物の姿と行動には、どんな人でも魅了されるにちがいない」という結論部に説得力をもたせている。

ただし、説明的文章の読みにおいては、生徒は往々にして内容面に注目しがちです。表現方法に目を向けさせるためには、「読むこと」の前に「書くこと」を位置づけ、「表現方法を学ぶために文章を読む」という目的をハッキリさせることです。「読むこと」を「書くこと」でサンドイッチするイメージです。



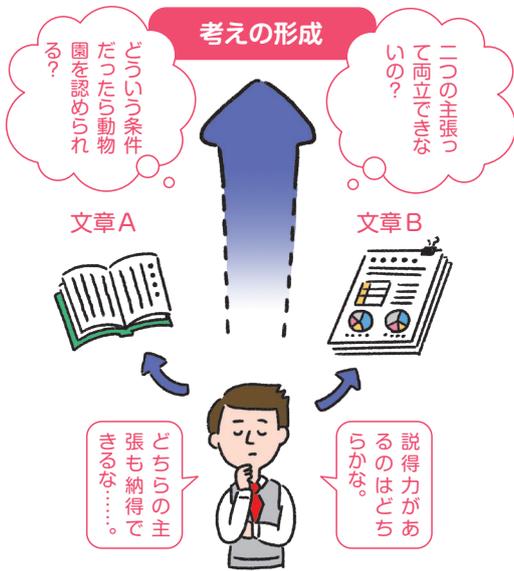
理想的には、「○○の魅力を発信しよう」などのテーマで生徒に文章を書かせてみて、「魅力を読み手に納得させるための書き方がわからない。」という問題意識を抱かせたあとに、文章に出会わせることが考えられます。あるいは、教材を読み進めながら自分なりの書き出しや事例の順序を考えさせ、生徒を書き手の視点に一時的に立たせたあとに、教材の表現方法を吟味していく活動に展開することが考えられます。いずれにしても、生徒が書き手の視点に立つことを先行させるのです。

2 内容面の関連…筆者の主張を超えて 新たな考えを形成する

次に、内容面を関連させるパターンです。ここで課題となるのは、教材を読んで生徒に意見文を書かせた場合、筆者の主張を繰り返すことに終始しがちで、批判的な意見や新たな意見が出てきにくいことです。「動物園でできること」には、動物園の役割を一面的に肯定してしまっているという問題点があるのですが、専門家が書いた文章に反論を加えたり、論の一面性を見抜いたりするのは、大人であってもかなり難しいのです。こうした課題を乗り越えるためには、教科書外の資料を積極的に活用することです。動

物園の是非をめぐることは、動物が人間の想像以上の知性を備えていることが明らかになるにつれて、動物の権利への関心が高まり、かなりの議論が巻き起こっています。インターネットや動画投稿サイトで「動物園 是非」と検索するだけでも、かなりの記事や動画を入手することが可能です。

これらの資料と「動物園でできること」とを比べることで、初めて生徒は教材の論の一面性に気づくことができます。そのことが、「私たちは筆者の主張を安易に受け入れてしまっているのだろうか。」という問いを生じさせ、「では、私たちは動物園とどのように向き合っていけばいいのか。」という新たな考えを形成する契機となっていくのです。



「真正」な学びとしての読み書き関連

ただし、対立する複数の文章を読んだ際、中学生は二者択一的な発想に陥りがちで、両者を「いいところ取り」したり、何らかの条件を設けて立場を決定したりといった発想をもちにくい実態にあります。こうした発想法は、教師が明示的に教える必要があるでしょう。

最後に強調しておきたいのは、文章を書く前に同様の内容に関する本を読んで発想を得たり、似たような読者層を対象とした本を読んだ書き手が日常的に行っている行為だという点です。その意味で、読み書きの関連は、それぞれの能力を効果的に高めるばかりではなく、日常に生きてはたらく「学び方」として、ぜひ生徒に身につけてほしい習慣なのです。

Profile

こが よういち

島根県立大学人間文化学部准教授。博士(教育学)。専門は国語教育学、特に説明的文章の読みの学習指導論。主な著書として、『説明的文章の読解方略指導研究』(溪水社、2020、単著)、「説明的文章の批判的読みの指導における統合的理解」(全国大学国語教育学会編「国語科教育」第86集、2019)などがある。



授業 アイデア

1年



主人公の「その後」は どうなる？

「時制や視点人物に着目し、「少年の日の
思い出」を読み解き、表現してみよう」

栃木県立佐野高等学校附属中学校 石塚弘幸

授業の流れ

《全5時間／本時は第4時》

導入

「少年の日の思い出」の最後の場面について確認する。

▼この作品は「僕」が闇の中でチヨウを潰した場面で終わり、時制が過去のまま物語の
終末を迎えることを確認する。また、前時に考えた「なぜ『僕』はチヨウを潰したの
か。」という問いについての意見を振り返る。

展開
1

「『僕』はその後、どのように変化するのか。」という大きな
問いを解決するために、交流して考えを深める。

① 班で意見を出し合う。

▼この作品の語り手は「僕」（一人称視点）であるということをふまえて考える。

② ワールドカフェ方式を用い、班で出た意見をもとに話し合う。

▼話し合い後、最初に考えた意見や他の班の意見をもとに、チヨウを潰した翌日以降
の「僕」の変化や、大人になってからの「僕」の変化について、班で再度意見を交流
する。

この授業について

「少年の日の思い出」を、描写をもとに
解釈し、分析する。グループやクラスで
の対話を通して、自分の意見を形成し、
表現していく授業を構築した。

第1時に、答えのない「大きな問い」を
提示する。この問いをふまえて、本文か
ら読み取った情報をもとに考え、議論し、
最終的に自分の意見を作文に表現し、そ
れを読み合う活動を設定した。

評価規準 1年生

【知識・技能】自分の意見を、他の人の意見
と比較、分類、関係づけながら、深めている。

(2)イ

【思考・判断・表現】「読むこと」において、
登場人物の相互関係、心情の変化などに
ついて、描写をもとに捉えている。(C)イ
【主体的に学習に取り組む態度】自分の意見
と多様な意見とを比較し、関連づけながら、
問いを解決しようと粘り強く議論し、人物
の心情や関係の変化について、自分の考え
をわかりやすく伝えようとしている。



ICT活用のヒント

意見交流の場面で
効果的に使う

グループでの交流… Microsoft

Whiteboard

グループで付箋を使いな
がらKJ法などを実施できる(手書き機
能を活用して、付箋を線でくくったり、

③ 教師がファシリテートしながら、「僕」の心情の変化についてクラスで意見を述べ合う。

自分の意見を四百字程度で書く。

- ▼「僕」はその後、どのように変化するのか。」という問いについて、意見交流を通して深めた内容をふまえ、自分の意見を根拠を明確にして書くことを伝える。
- ▼ Microsoft Teams を使った Word に入力して文章をまとめてよい。

次時では作文を読み合わせて交流することを伝える。

- ▼ 他者と意見を交流することで、更に考えを広げ、深める活動を行うことを促す。

○この教材の学習の最初に、「僕」はその後、どのように変化するのか。」という問いを提示することで、生徒は課題解決に向けて本時までの活動を進められた。また視点人物を意識させ、叙述をもとに文章を俯瞰的に見ることによって、「僕」の心情を更に深く捉えることができた。

○文学作品を扱う「書く活動」は、自分の読みを表出するための活動であることを生徒に意識させることで、作文が苦手な生徒も、話し合いをもとに前向きに活動に取り組むことができた。

生徒の振り返り例

- 大きな問いを解決するために、感想や疑問点をもとに内容を深めてきたが、いちばん疑問に気がついていたチョウを潰す場面の意味について、みんなの意見から理解することができた。
- 話し合いのときは自分の意見が固まったつもりでいたが、他の人の作文を読み、更に考えてみたいという気持ちになった。

色を付いたりすることも容易にできる。入力した内容はクラウド上に保存されるため、あとで見返したり、他の班のファイルを開いて参考にしたりもできる。



Microsoft Whiteboard を使った例。ここでは、4人グループで活動し、座席の位置によって色を指定した。色によって、自分の意見と他者の意見をすぐに比較することができる。

クラス全体での交流... Microsoft PowerPoint スライドをグループ分用意し、自分のグループのスライドに入力させることで、情報が共有しやすくなる。正面のプロジェクトに一括で表示することが可能になり、全てのグループの進捗状況や内容を全体で共有できる。

三省堂教科書・教材サイトでも、「授業アイデア」をご紹介します。

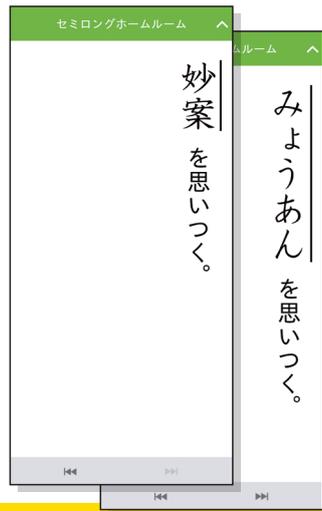


【完全準拠】令和3年度版『現代の国語』漢字学習アプリ



完全準拠

教科書の教材ごとに学習できます。
各教材の
新出漢字・音訓を扱っています。



書体

漢字学習に適した書体で
字形を確認できます。



▶ 無料でご利用いただけます



ことば探し辞典で、求めていることばがきっと見つかる!



ISBN : 978-4-385-13971-5



ISBN : 978-4-385-13970-8



ISBN : 978-4-385-13972-2



ISBN : 978-4-385-13975-3



ISBN : 978-4-385-13973-9



ISBN : 978-4-385-13974-6

各 A6判 208ページ
定価 880円
(本体 800円+税10%)

三省堂 辞書を編む人が選ぶ「**今年の新語 2023**」
受付はこちらから

今年の新語2023

で検索!!



ことまな学校サポートサイトのご案内

……指導書・デジタル教科書(教材)等をご採用いただいている学校ごとの専用サイト

指導書などに付属する各種データに加え、追加の資料やワークシートなどのデータをダウンロードいただけるほか、デジタル教科書などの導入の方法の確認や、お問い合わせフォームもご利用いただけます。
(ログインにはIDとパスワードが必要です)



ことまな学校サポートサイト

